



14時 文部科学省同時発表  
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和8年3月19日（木）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
文化伝承課	記念物保護係	長谷川 吉村	内線 3145 直通 058-272-8759 FAX 058-278-2824
飛驒市教育委員会 文化振興課	文化係	三好 保谷	直通 0577-73-7496 FAX 0577-73-7497

## 文化財の新規指定について

文化庁の文化審議会（会長 しまたに ひろゆき 島谷 弘幸 氏）は、令和8年3月26日（木）に開催される文化審議会において、国指定重要文化財（美術工芸品）の新規指定を文部科学大臣に答申する予定です。

今回の答申には新規指定として飛驒市に所在する「ぎふけんしま しおやきんせいじんじやいせきしゅつどひん岐阜県島・塩屋金清神社遺跡出土品」が挙がっています。今回の指定により、県内における国重要文化財（美術工芸品）の件数は108件になります。

### 記

文化財の種類	文化財の名称	文化財の所有者（保管施設）
重要文化財 (美術工芸品)	岐阜県島・塩屋金清神社遺跡出土品	飛驒市（飛驒の <small>さんしょうかん</small> 山樵館）

### 岐阜県島・塩屋金清神社遺跡出土品

- ・年代：縄文時代
- ・所有者：飛騨市（保管施設：飛騨の山樵館）
- ・員数：一括（点数：284点、附93点）
- ・概要：

島遺跡と塩屋金清神社遺跡は、飛騨市宮川町の深い溪谷を流れる宮川に面し立地する、石棒製作の痕跡を残す遺跡である。近傍の山中からは石棒の素材に適する溶結凝灰岩（通称「塩屋石」）が採取可能である。島遺跡は縄文時代中期の集落遺跡で、大型石棒やその未成品及び工具類が出土している。塩屋金清神社遺跡では集落下の崖地が調査されており、縄文時代後期から晩期における小型石棒やその未成品・工具類が発見されている。

これらは、両遺跡の出土品を併せることで、縄文時代中期から後・晩期における「塩屋石」製石棒製作の様相と形態の変遷をよく示す一括となる。素材産出地が判明していることに加え、縄文時代の代表的な祭祀遺物である石棒の製作工程がわかり、石棒の製作方法を理解するためのきわめて重要な基準資料であることから、高い学術的価値を有する。



画像提供：飛騨市